

備前市事務事業評価シート

事業の概要		事業開始年度		S62~		根拠法令・規程等		下水道法、水質汚濁防止法	
総合計画	大項目	基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり		問 合 先	担当課(室)	下水道課	
	中項目	基本施策	01	生活しやすいまちづくり			職・氏名	参事・初治慎一	
	小項目	施策	10	下水道			電話	0869-63-2330	
事務事業名		05		公共下水道施設管理事業		このシート作成に要した時間		4.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象(誰・何に対して)	下水道使用者及び不特定多数		
目的(何のために)	公共用水域の水質保全のために、流入下水を浄化し放流する。		
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	処理場施設の適正な維持管理に努め、下水を処理することにより、公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図る。		

事業の実績		Do	
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	浄化センター外管理事業	汚水処理を目的に設置した4箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理	◎
		汚水送水を目的に設置した4箇所の中継ポンプ場の運転管理	○
		雨水排水を目的に設置した2箇所の雨水ポンプ場の運転管理	○
		汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理	○
		事業場から排水される汚水の水質調査及び指導	▲
	管渠施設管理事業	下水道管渠等の健全な管理のため、管渠やマンホールポンプの点検・清掃を行い、安全な通行を確保するため、マンホール周辺の路面修繕を行った。	○
	施設改築事業(施設長寿命化対策事業)	日生・吉永浄化センターにおいて長寿命化対策事業として、土木・建築・機械・電気設備の基礎調査、老朽化診断・併せて耐震診断を行った。	○

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績			
	事業費	必要人員	人	367,023	350,152	393,626			
	費	人員	人	3.43	3.09	3.25			
	費	費	円	30,951	21,532	30,513			
	計	計	円	397,974	371,684	424,139			
財源	国	支	出			18,200			
	受	益	者	負	担				
	繰	入	金						
	源	入	債						
	一	般	財	源		397,974			
	受	益	者	負	担	率	%		
							405,939		
							-		
結果指標	結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績			
	結果指標	量	m	3,438,113	3,704,348	3,825,033			
	対	前	年	比	%	107.7%			
	活	動	コ	ス	ト	円	397,973,842		
	単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

(平成23年度事業)

事業の成果		成果指標設定の考え方・式や説明				
C00値	成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
	目標値(A)		15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値(B)		8.2	8.3	8.4	到達目標値
	達成率(A/B)		182.93%	180.72%	178.57%	15mg/l以下

COD(化学的酸素要求量)は、海域と湖沼の排水基準に用いられ、水中の有機物を酸化剤(薬品)によって酸化するのに消費される酸素量を示す。実績値の値が大きいほど汚れが大きく、目標値以下でなければならない。(目標値>達成値、達成値=目標値÷実績値は100%以上でなければならない。)

事務事業の評価		Check	
事務事業の評価	該当する項目を□から■へ<■←「コピー」して「貼り付け」してください>		
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高 や 普 や 低 い や 通 や い 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高 や 普 や 低 い や 通 や い 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高 や 普 や 低 い や 通 や い 高 低 い
市民参画度			B

事業の目的やその数値目標を評価する

進行年度(H24年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	経年により老朽化が進んでいる施設があるため、長寿命化対策事業として23年度に行った基礎調査・耐震診断を基に、基本計画を策定する。次年度以降、効率的、経済的な施設の点検整備を進める。					

総合評価		総合評価	
処理コストを抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。		A B C D E 高 や 普 や 低 い や 通 や い 高 低 い	B

平成25年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	長寿命化計画を基に施設を点検整備し、効率的・経済的な施設管理を実施していく。					